

# いしかり「防火」通信

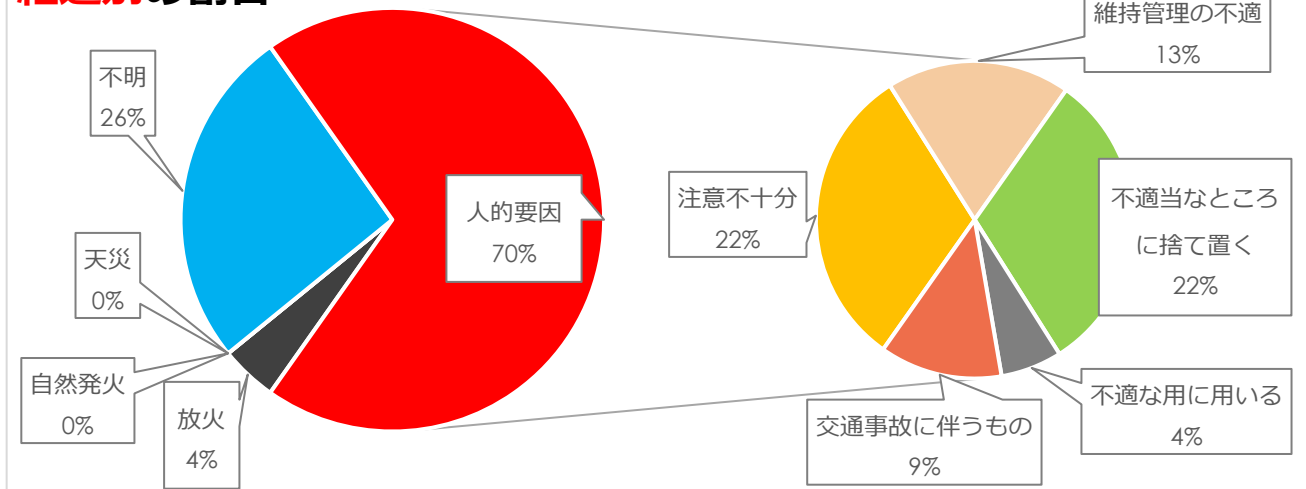
石狩市では昨年、**23**件の火災が発生しました。前年に比べると16件減少した一方、負傷者1名が発生したほか、火災による損害額は**約2,419万円**となりました。令和4年の火災の特徴について、以下で詳しく分析していきます。

## 令和4年石狩市で発生した火災の原因

出火原因 順位	出火原因	件数	出火原因 順位	出火原因	件数
1	たばこ	2	—	電灯・電話等の配線	1
1	排気管	2	—	溶接機・切断機	1
1	火の粉	2	—	ハンドトーチ	1
1	火のついたゴミ	2	—	配線の短絡	1
1	炭火	2	—	放火	1
—	こんろ	1			
—	ストーブ	1	—	不明	6

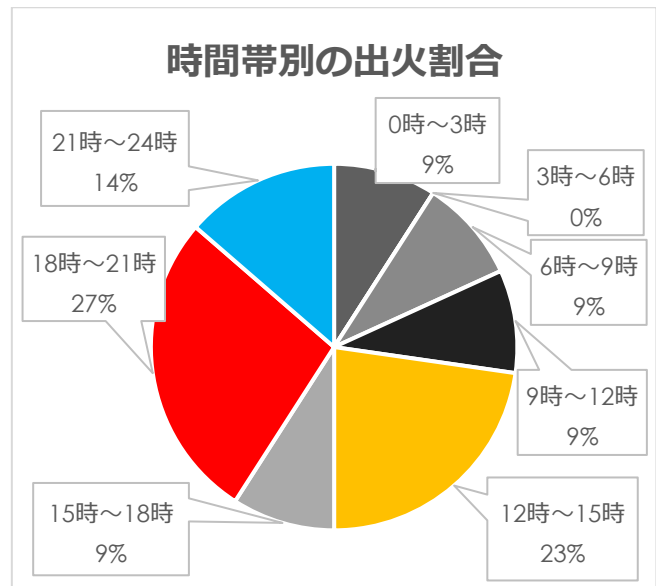
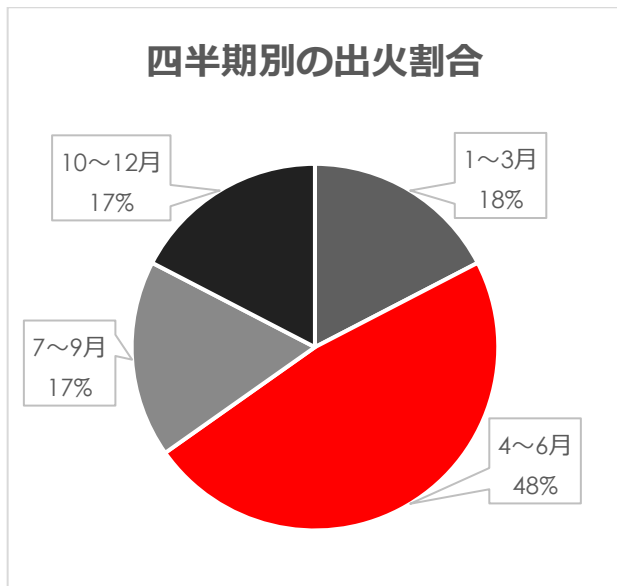
昨年の出火原因は上記のとおりです。突出して多い原因はありませんでした。

## 経過別の割合



全体の**7割**が**人的要因**によるものでした。

内訳を見ていくと、火気取扱い時の**注意不十分**、タバコなどの火種を**不適当なところに捨てる**、火気器具の**維持管理の不適**などが挙げられます。



次に、四半期別の出火割合を見てみると、全体のおよそ半分の火災が4月～6月期に発生していました。特に4月が17%、5月が26%の割合を占める結果となり、空気が乾燥する春に火災が集中する結果となりました。

また、時間帯別の出火割合を見てみると、夜間・就寝時間帯の火災発生は僅かであり、大半が日中の活動時間帯に発生していました。

## まとめ～令和4年の火災の特徴と対策～

### 【特徴】

- ① 空気の乾燥する4月、5月に火災が集中している
- ② 大半が日中などの活動時間帯に不注意などにより発生している



### 【対策】

- ① 火気器具は説明書のとおり使用・管理する。
- ② 火の使用中は目を離さない。
- ③ たばこは適切な場所に捨てる。
- ④ 風の強い乾燥した日は、火の使用を控える。





## 春の火災事例と対策

春は着火しやすい【**空気の乾燥**】と、火災が広がりやすい【**強風**】という2つの悪条件が揃ってしまう危険な季節でもあります。これまでに実際に起きた春の火災事例とその対策をみていきましょう。

### 違法ごみ焼却により建物等が焼損した事例

違法にドラム缶でごみを焼却しており、少し目を離れたところ、強風で舞った火の粉が近くの建物に着火し、近くの物品や立木に延焼した。この日は『強風注意報』と『乾燥注意報』が発表されていた。



### 【対策】

- 火気使用時にはその場を離れず目を離さない。
- 風が強いときは屋外では火を使用しない。



## 春の全道火災予防運動を実施します！

4月20日～4月30日まで春の全道火災予防運動を実施します！

期間中は火災予防啓発品の配布や消防車両による巡回広報等を実施します。

この機会に火災や近年増加する自然災害への対策、避難方法等について、会社やご家庭で話し合ってみてください！



発行：石狩消防署予防課

〒061-3211

石狩市花川北1条1丁目2番地3

Tel 0133-74-7165

Fax 0133-74-9814



ホームページ



ツイッター